

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう！



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ 3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

要求実現の力—組織の拡大強化と産別統一闘争の前進

「働き方改悪」を職場にもち込ませず、憲法9条まもる—JMITUが定期大会



組織の拡大強化と産別統一闘争の前進へ、第6回
定期大会 (7月14~15日)

JMITUは7月14~15日、静岡県伊東市内で第6回定期大会をおこない、18春闘を総括するとともに、2019年度運動方針案、秋闘方針案など採択、新年度役員体制を選出しました。

2019年度運動方針の基調は、「要求実現めざして組織の拡大強化を徹底し、産別統一闘争をすすめよう」。三木委員長はあいさつのなかで、あらためて「要求を実現する力をもつ労働組合」をめざし、日常活動と産別統一闘争を強化すること。その担い手としての「働き手」を思い切ってつくっていくとりくみの重要性を強調しました。また「働き方改悪」が強行されたもと、職場に改悪法制をもち込ませないこと、安倍政権が秋の臨時国会にもねらう憲法9条改憲発議を必ず止めるために、引き続き3000万署名に全力を上げようとよびかけました。

討論では、「お茶会なども開き、セクハラ相談にもものっている」(栃木日本板硝子)、「3年がかりで昼

食費の半額補助をかちとった」(東京・日本ロール)、『社長への一言メッセージ』をはじめととりくんだ支部で、春闘要求が前進」(東京北部)、「新入社員をメーデーに誘い、食事会もして組合を知ってもらい加入してもらっている」(大阪・野村製作所)、「2年前に加入したばかりの書記長が、『職場が近い』『年齢が近い』の『2つの近い』で組合員を増やしている」(大阪・田辺鉄工所)など、身近な要求を大事にして職場の日常活動をつくり団結も強めている経験や、青年自身が仲間に声をかけ組合員を増やしている経験などが紹介されました。

大会会場では、西日本豪雨災害の救援募金がおこなわれました。新役員では4役として委員長=三木陵一、副委員長=宇佐美俊一、川口英晴、書記長=笠瀬隆司、会計=泉田隆徳氏がそれぞれ再任されました。

西日本豪雨災害そっちのけ、悪法強行の暴挙 「安倍政権倒すまで」 7・19 国会前8500人



猛暑が続くなか国会に8500人 (7月19日)

安倍政権は集中豪雨によって西日本一帯が重大な被害に直面しているさなかに「赤坂自民亭」と称する大宴会を催したあげく、災害対策そっちのけで賭博を合法化するカジノ法案を強行。ついでに自民党に有利な参議院議員定数6増法案まで強行しました。

19日行動の7月19日の国会前には、「国民のいのちより賭博のカジノが大事という安倍政権を一刻も早く退陣させよう」「倒すまで続けるぞ」と8500人がつめかけました。

8月19日の国会行動は16時～衆院第二議員会館前でおこなわれます。

広島へ代表30人 結団式

核兵器禁止条約の国連採択から2年目を迎える今年の原水爆禁止世界大会(8月4～6日)に、JMITUは30人の代表団(泉田隆徳団長)を派遣します。

出発に先立つ7月20日、本部会議室で代表団の結団式・壮行会がおこなわれ(写真右)、首都圏からの代表と中央役員が参加。「条約に日本が反対するのは許せない」「広島を知り学んで今後に生かしたい」など、決意を語りあいました。



翁長さん再選で辺野古基地ストップ 沖縄県知事選支援ツアー 参加者を募集 第1次8月21日

安倍政権が強引に推しすすめる辺野古新基地建設阻止へ、11月18日(日)投票の沖縄県知事選が決定的な意味をもちます。10月21日(日)には、翁長知事を支え「これ以上の基地はつくらせない」と表明している城間市長が再選をめざす那覇市長選挙もたたかわれます。JMITUは4年前の県知事選応援に続き、今回も支援ツアーにとりくみます。自主的な参加をよびかけています。

日程 10月19日(木)～22日(月)

募集人員 羽田発14人、名古屋発3人、伊丹発2人

参加費(航空運賃・宿泊) 羽田発49,000円、名古屋・伊丹発45,000円

締切り 第1次8月21日(火) *定員になり次第締切りとなり、以降は各自での参加となります。す

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月25日を基本発行日としつつ、闘争時の「情報」、組織建設の経験・教訓なども含め適時発行しています。各支部・分会などひろく発信してください。